シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	97154502		開講キャンパス/Campus	大阪梅田キャンパス／Osaka Umeda Campus	
授業開講年度/Academic Year	2024年度		オンライン授業60単位制限対象科目 The 60-credit limit for online courses		
管理部署/Administrative Department	経営戦略研究科／Institute of Business and Accounting				
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【550】コーポレート・ファイナンス基礎　2／Introduction to Corporate Finance				
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期前半／Fall (1st Half)	曜時/Day and Period	土曜1時限／Saturday 1
担当者/Instructor	岡田　克彦(OKADA KATSUHIKO)				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年				
履修登録方法 Types of course registration	本登録				
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese				
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format				
授業目的/Course Purpose	企業財務に必要な最低限の知識と考え方について学ぶ				
授業目的(英文) Course Purpose	Students will learn the basic concepts in corporate finance to deal with various corporate finance issues in the real world.				
到達目標/Learning Goals	受講生はコーポレート・ファイナンスで使われる専門用語(正味現在価値、企業価値、資本コスト等)を用いることができるようになる。				
到達目標(英文) Learning Goals	Students understand the language used in corporate finance such as NPV, corporate value, and cost of capital.				
授業の概要・背景 Course Outline	普段は何気なく使っている「企業価値」という言葉ですが、実はファイナンス理論をもちいて定量的に測定することができるのです。企業買収、合併、IPO、資産運用、事業ポートフォリオ評価　などなど、企業の財務活動、投資活動のほどんど全てに関わるのがファイナンス理論です。一旦習得すると、世の中の見え方が変わります。しっかり学習していきましょう。				
授業方法 Course Format	ハイフレックス授業、ただし、ケース討論、ゲストスピーカーとの議論は対面のみ参加とみなします。議論や質疑の内容は評価対象とします。 Hiflex class, however, case discussions, as well as discussions with guest speakers, will be considered as participation in person only. The content of discussions and questions will be subject to evaluation.				
関連科目/Related Courses	統計学，事前にYoutubeの統計学も視聴要 証券投資(コーポレートファイナンス基礎を履修した後に履修することに意味があります) 行動ファイナンス(ファイナンスの最先端理論、実証研究に触れることができます) 行動経済学(行動ファイナンスは行動経済学の理論をファイナンスに応用したもの、是非履修をおすすめします)				
検索キーワード/Keywords	DCF法、割引現在価値、リスク、MM理論、資本コスト、企業価値評価				

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	コーポレート・ファイナンスの考え方	
第2回 Session 2	リスクの意味・株式リスクプレミアム	宿題あり
第3回 Session 3	金利の期間構造(無リスク利子率と倒産コスト)	
第4回 Session 4	株式市場について、危険資産の分布	宿題あり
第5回 Session 5	リスクとリターンの理論	
第6回 Session 6	株式ポートフォリオとCAPM	宿題あり
第7回 Session 7	資本コストの算出について・WACCの算出	
第8回 Session 8	企業価値向上とプロジェクト評価中間試験実施	発表準備あり
第9回 Session 9	WACCとMM理論	
第10回 Session 10	WACCとMM理論II・負債構成・レバレッジ	発表準備あり
第11回 Session 11	リアル・オプション評価、無形資産の評価	
第12回 Session 12	リアル・オプション評価、Equivalent Annualの考え方	発表準備あり
第13回 Session 13	ゲスト講義(S&PJapan 元CEO三宅伊智朗氏の講演)	あり
第14回 Session 14	ゲスト講義(SG Global MD, 京都大学特任教授、城西国際大学教授　松本茂先生 「 M&Aと企業価値」)	
第15回 Session 15	授業内期末試験	

教科書/Required texts	著者名：砂川伸幸　タイトル：コーポレート・ファイナンス入門　発行所：日経文庫　出版年：2017　ISBN：
教科書 Required texts	『コーポレート・ファイナンス入門』 砂川伸幸著　日経文庫　安価な本ですので、各自購入して背景知識を得ておいてください。授業でも時々参照します。
参考書/Reference books	著者名：ブリーリ、マイヤーズ、アレン　タイトル：コーポレート・ファイナンス 第10版上下　発行所：日経BP　出版年：2014　ISBN：
参考文献・資料 Reference books	新聞記事や論文など適宜配布しますので、授業が始まる前までに必ず目を通しておいてください

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）
課題等へのフィードバック方法 Methods for Providing Feedback on Assignments	オンラインで質問日を毎週設けます。質問日のやりとりも録画して共有します。スラックというアプリ（登録無料）をつかって、気軽に情報交換ができる環境を作っています。

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	授業中試験／In-class examination(03)	60%	中間試験＋期末試験（持ち込み可の筆記試験）
	その他／Others(99)	40%	宿題の提出状況、内容、グループ発表、クラスへの貢献
	備考 Note 質疑は皆さんの理解を深めるために重要です。重要な質問・発言はクラス貢献だとみなし加点します。Asking questions is important for deepening your understanding. Active questions and comments will be considered as class contributions and will result in additional points.		
備考　Note	本学では、金融データサイエンス人材育成に積極的に取り組んでおります。コーポレート・ファイナンス基礎とともに、是非　丸橋先生の情報システムの授業を受講してください。これまでプログラミングをしたことが無い方を対象に授業が組まれていますので、心配する必要はありません。そこで、Pythonの基礎を学んだ後は、その後第3Qのマーケットデータ解析の授業を履修されることをお薦めします。コーポレート・・ファイナンス基礎を含めた3つの授業を履修することで、金融データ分析の基礎知識を習得することができます。プログラミング技術を学ぶのはある程度慣れが必要です。正規の授業以外にもかなり充実した補講をしますので、安心してついてきてもらえればと思います。		
更新日時/Date of Update	2024年02月21日　16時08分33秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	秋学期前半／Fall (1st Half)	土曜1時限／Saturday 1	秋学期前半／Fall (1st Half)	OC1004
2	2024年度	秋学期前半／Fall (1st Half)	土曜2時限／Saturday 2	秋学期前半／Fall (1st Half)	OC1004